

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語	前期2単位	中田 景子	6	6	4

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、本文を正確に読解する力をつける。さらに、自分の考えをまとめ表現する力をつける。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、国語総合の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

必ず辞書と便覧を手元に置いて、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。教科書はありませんので、指導資料を使いながら学習を進めてください。

◇履修にあたっての留意点

現代文の作品は声に出して読み、わからない漢字にはチェックを入れるなどし、必ず予習をしてきてください。また、意味のわからない語句や漢字がわからない語句があればすぐに辞書をひく習慣を身につけましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	4月22日・23日	漢字の学習 ことわざ・故事成語の学習	P1～2
2	5月13日・14日	口語文法の学習 品詞の学習	P2～6
3	5月20日・21日	現代文の学習①（評論文） 慣用句の学習	P6～8
4	7月1日・2日	古文の学習 漢文の学習	P8～10
5	7月8日・9日	敬語の学習 原稿用紙の使い方	P10～12
6	7月15日・16日	現代文の学習②（随想）	P13～16

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B②	2	篠遠 秀樹	6	6	3

【科目の目標】

古典の基礎知識を活用しながら古典に自ら触れることにより日本の伝統文化を学び、ものの見方や考え方を磨き、より豊かな人間性確立の一助とします。

【科目の概要】

これまでの学習を基礎に、より多くの古典教材に親しみ、読解力と理解力を高めます。

【学習の進め方】

まず、本文をきちんと読むことができるように練習します。次に、文法・古語の知識を活用しながら自ら現代語訳をつくりましょう。最後に、学習書など活用しテキストの全体を通した内容理解を深めます。

【履修にあたっての留意点】

長い命を持つ古典作品は多くの人々に大事にされ読み継がれた価値あるものです。しかし、時代が離れているだけに、分かりにくいところも多いものです。ゆっくりと味わうつもりで学習を進めて下さい。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書（学習書） ページ
1	10月14日 10月15日	提10月23日 合10月30日	古文学習の基礎・軍記物語「平家物語」 冒頭・随筆「枕草子」冒頭	P78(103) P60(74)
2	10月28日 10月29日	提11月 5日 合11月15日	随筆「奥山に、猫またといふものありて」(徒然草)「安元の大火」(方丈記)	P36(41) P44(53)
3	11月 4日 11月 5日	提11月 8日 合11月15日	説話「小式部内侍が大江山の歌の事」 (古今著聞集)・和歌「古今和歌集」「新古今和歌集」	P14(16) P56(68)
4	12月 2日 12月 3日	提12月13日 合12月25日	漢文の学習・「故事・寓話」	(214)P169(205)・ P171(209)・ P185(230)
5	12月 9日 12月10日	提12月27日 合 1月24日	物語「かぐや姫の昇天」(竹取物語)・ 日記「源氏物語の五十余巻」(更級日記)	P22(27)・P71(91)
6	1月13日 1月14日	提 1月17日 合 1月24日	物語「若紫」(源氏物語)	P137(170)

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：第一学習社『高等学校 標準 古典B』

文法書：桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	現代文 B①	前期 2 単位	中田 景子	6	6	3

◇科目の目標

さまざまなジャンルの現代文を読むことを通して、思考力を伸ばし、問題意識をはぐくみ、豊かな感性を養う。

◇科目の概要

より高いレベルの文学作品を鑑賞し、また、評論文や小説、エッセイなどの正確な読み取りができるようにする。

◇学習の進め方

筆者・作者は何を言おうとしているのかを常に考えるようにして下さい。また、学習書や辞書も活用し、わからない語句は調べながら読解して下さい。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らないことがらや言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自発的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4 月 22・23 日	「わたしはあなただったのかもしれない」 「コミュニケーションの文化」	p. 8～ p. 120～
2	5 月 20・21 日	「情けは人の……」 詩「こころ」	p. 70～ p. 252～
3	5 月 27・28 日	「話をきかせて」	p. 206～
4	7 月 1・2 日	「山月記」	p. 349～
5	7 月 8・9 日	「名所絵はがきの東西」 「記憶のゆがみ」	p. 129～ p. 234～
6	7 月 15・16 日	「僕らの時代のメディア・リテラシー」	p. 267～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

◇使用教科書・副教材 標準現代文 B (第一学習社) 学習書 新国語便覧 (第一学習社)

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合①	前後期2単位	篠遠 秀樹	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成します。また、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにするとともに、言語文化に対する関心を深め、学ぶ態度をはぐくみます。

◇科目の概要

国語総合①では、中学校までの学習の上に立って、現代を代表する著者による、さまざまなジャンルの現代文を読みます。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視して下さい。また、漢字の書き取りドリルなど、繰り返し手で書いて覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日 前期 後期	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4月22・23日 10月14・15日	現代文 随想 待つということ	110～113
2	5月13・14日 10月28・29日	現代文 評論 未来をつくる想像力 詩 二十億光年の孤独	56～62 70～71
3	5月20・21日 11月4・5日	現代文 小説 羅生門	80～94
4	7月1・2日 12月9・10日	現代文 短歌 その子二十 俳句 春風や	134～144
5	7月8・9日 12月16・17日	現代文 評論 美しさの発見	200～207
6	7月15・16日 1月13・14日	現代文 小説 沖縄の手記から	173～196

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合②	後期2単位	中田 景子	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

◇科目の概要

中学校までの学習の上に立ち、古典の入門から始まって、代表的な古文・漢文を鑑賞します。また、①で学ぶ現代文では、現代を代表する著者による、さまざまなジャンルの作品を読みます。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視してください。また、漢字の書き取りドリルなど、繰り返し手で書いて覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書ページ
1	10月14日・15日	古文 古文に親しむ 児のそら寝	246～ 253
2	10月28日・29日	古文 徒然草 亀山殿の御池に 奥山に、猫またといふもの	266～ 268
3	11月4日・5日	漢文 訓読の基本 故事 守株	318～ 325
4	12月9日・10日	漢文 唐詩 春暁 江雪 贈汪倫 論語	332～337 342
5	12月16日・17日	古文 折々のうた	282～287
6	1月13日・14日	古文 伊勢物語 芥川 筒井筒	298～ 303

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

